

佐藤(佐野日大)初の高校女王

八巻(石橋)3連覇ならず

高校男子は平田が頂点

藤紗菜(佐野日大)121・91点。ス①高橋茜音(鹿沼南)8・33
 ②八巻(石橋)③浅沼(作新)▽点
 Aクラス①丸山聖奈(全東)②平塚明日佳(小山)103・19点
 37・03点③佐藤(白陽)▽Dクラス 田中和(宇北)91・28点
 ②鈴木(萱宮)③北條(城山)▽

42 15 15 15
 ①轟田校長(阿久津) ②山本都賀▽Cクラス ①小村萌華(作新)15・25点
 【男子】▽選手権クラス ①渡辺元(日光東)91・79点 Aクラス ①丸山英希(全松原)39・47点
 宇北高・平田大和(高) 校選手権男子で3連覇
 「ショートもフリーもトリプルサルコを決められず練習不足を痛感した。課題は着地。入試の時期で練習時間に限りがあるが、インターハイではフリーに残れるよう準備したい」
 小山二中・芦塚明日佳(中学選手権女子で初優勝)「ショートプログラムはスピンのジャンプも決まって今まで一番の出来だった。フリーも苦手なダブルアクセルを2回飛べて楽しめた。初めての全国大会で楽しく元気に滑りたい」
 日光東中・渡辺元(中学選手権男子で優勝)「ショートはスピンの回転やノーミスでジャンプすることを意識したが改善できず悔いが残った。フリーは最後のダブルアクセルが決まってほっとした。全中ではフリーに進めるように頑張りたい」



高校選手権男子で3連覇
 「ショートもフリーもトリプルサルコを決められず練習不足を痛感した。課題は着地。入試の時期で練習時間に限りがあるが、インターハイではフリーに残れるよう準備したい」
 小山二中・芦塚明日佳(中学選手権女子で初優勝)「ショートプログラムはスピンのジャンプも決まって今まで一番の出来だった。フリーも苦手なダブルアクセルを2回飛べて楽しめた。初めての全国大会で楽しく元気に滑りたい」
 日光東中・渡辺元(中学選手権男子で優勝)「ショートはスピンの回転やノーミスでジャンプすることを意識したが改善できず悔いが残った。フリーは最後のダブルアクセルが決まってほっとした。全中ではフリーに進めるように頑張りたい」

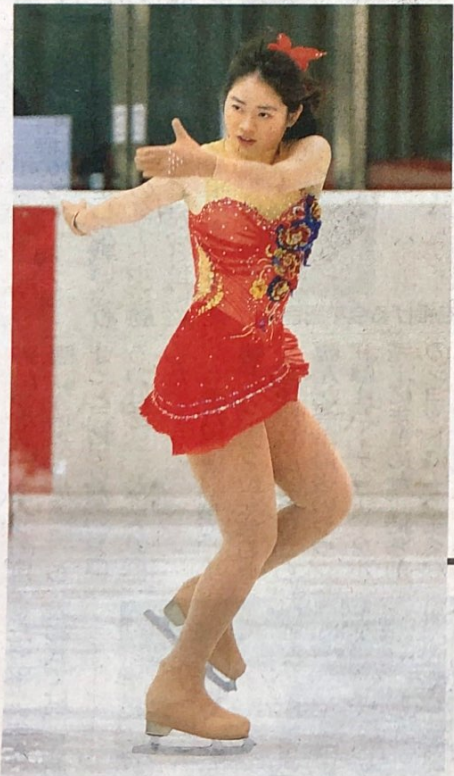
フィギュアスケートの
 県中学・高校総体などが
 2日、宇都宮市スケート
 センターで行われ、高校
 選手権女子は佐藤紗菜
 (佐野日大)が121・
 91点で初優勝。3連覇を
 狙った八巻絵梨花(石橋)
 は2位だった。
 同男子は平田大和(宇
 北)が91・28点で3連覇
 を達成した。中学選手権
 女子は芦塚明日佳(小山
 二)が103・19点で初
 優勝。同男子は渡辺元(日
 光東)が91・79点で頂点
 に立った。
 ◇県高校総体
 【女子】▽選手権クラス ①佐

ヒロイン

きらびやかな赤い衣装に身を包み、妖精のように軽快に氷上を舞った。佐藤紗菜(佐野日大)がトータル121・91点で高校女子選手権初優勝。1年生ながら2位に22点差以上もつける堂々の演技で、「120点以上が出たのは2度目。自己ベストではないが優勝はうれしい」とほかにんだ。2週間前にショートプログラム(SP)の内容を変えて難度を上げた。「ミスなく滑りきって点差をつける」。仏ミュージカル映

感性に頼らず技磨く

画「シエルブルーの雨傘」の楽曲に乗って表現力豊かに演技し、狙い通りにSPをトップ通過した。3回転ジャンプを四つ取り入れたフリーは、得点の高いトリプルを成功。三つ目のサルコを「跳ぶ前から不安になってしまっただ」と決めきれずに1回転半になったものの、それ以外は大きなミスはなかった。ジュニアからシニアになった今季。10月の東日本選手権で年上選手の演技に圧倒された。練習に向かう意識が変わり、感性に頼らず、一つ一つの技を丁寧に磨



高校選手権女子で初優勝した佐藤紗菜(佐野日大)＝宇都宮市スケートセンター

スピードスケート
 国体県予選
 県中学競技会
 スピードスケートの第74回国体県予選会兼中学競技会最終日は2日、

襲田(日光市)成
 県中学 湯沢